

広報

たなばた



8
2024 月号
No. 651
令和6年8月10日

今月の表紙

「かろがもクラブ たなばた」
7月のかろがもクラブは、5組の親子が参加し、民生児童委員の方と七夕の飾り付けをしました。輪つなぎや吹き流しなどの七夕飾りと一緒に、願い事を書いた短冊を笹に添えました。

- 《特集》
 - 南会津消防署只見出張所新庁舎が開所… 2～3
 - 《News&flash》
 - 《町の話題》
 - 《別冊》
 - 「空き家管理」
 - 「ふるさと納税」
 - 「U・Iターン情報」
- 7～10



防災拠点が新しくなりました 南会津消防署只見出張所新庁舎が開所



只見出張所 開所式が 行われました

南会津地方広域消防本部・消防署只見出張所の開所式が、6月30日に長浜字川除地内の新庁舎で行われ、関係者が新たな防災拠点の運用開始をお祝いしました。

開所式は、南会津地方広域市町村圏組合管理者の星下郷町長のあいさつや、渡部只見町長の祝辞、消防本部の高橋消防長より工事経過報告などが行

われ、その後、工事関係者などに感謝状が贈られました。

また同日の午後は、一般の方向けの内覧会が行われ、新たな防災拠点を一目見ようと、子どもから大人まで多くの方が訪れました。訪れた方は「明るく温かみのある建物になったと感じます。仮眠室などを目にして、

昼夜問わず出勤に備える職員に感謝しながら、改めて火事や大雨に気を付けたいと感じました」と話しました。

感染症や 女性職員勤務に 対応した庁舎

敷地面積は約2941平方メートル、延べ床面積は約543平方メートルで、鉄骨造り2階建ての構造となっています。中には、事務室、出動準備室、会議室、仮眠室などを備えています。他にも、耐震・豪雪対策、3日間無給油で発電可能な非常用発電機を備え、防災拠点としての維持機能を有しています。また昨今の感染症対応として救急消毒室や、女性職員の勤務に対応した女性専用室なども備えた施設となっています。



▲一般内覧会では、消防車の装備説明もあり、子どもたちは試乗する等して楽しむ一面も見られました



▲仮眠室は個室タイプが整備されています

万が一の災害への備えをお願いします

只見出張所が新しくなり、発電設備を備えるなど防災拠点として、より頼もしくなりましたが、万が一の災害時には、まず自分が、自身の身を守ること、家族の身を守ることが大切です。

年々激しくなる台風や大雨がもたらす川の氾濫や土石流によって、道路や家が流されることも珍しくなくなってきました。それに伴い、災害に対する考え方、備え方も見直し、新しくする必要があります。

町では、平成23年新潟・福島豪雨災害や令和元年東日本台風などの災害経験を基に「只見町防災マップ」を作成し、昨年、全戸配布いたしました。

只見町防災マップには、浸水想定区域や土石災害警戒区域などが示されたマップの他に、避難行動ガイド、防災情報の入手方法、各種災害の解説、非常時の持出品などが掲載されています。お住まいの集落の避難場所の確認や災害時にどのような行動をとるべきかなど、家族皆さんで改めて確認をお願いします。

○マイ避難シートを確認しましょう

「マイ避難シート」は、家族構成や自宅周辺の災害リスクに合わせて、どのタイミングで、どのような行動が必要かを考え、家族で共有しておく避難計画です。只見町防災マップの4ページにあるマイ避難シートを家族みんなまで再確認しましょう。

パソコンとプリンターをお持ちの方は、インターネットでもマイ避難シートが作れます

- ① ウェブブラウザ『ふくしまマイ避難シート』と検索し、「ふくしまマイ避難シート-福島県ホームページ」にアクセス
- ② ページ内右上の「マイ避難シートを作成する」をクリックし、作成ページにアクセス
- ③ 画面の指示に従い、必要事項を入力
- ④ 入力後画面に表示されたマイ避難シートを印刷。(家族分印刷するなど、共有できるようにしましょう)

【記入例】



自宅の災害の危険性を
ハザードマップで確認

浸水想定区域

洪水浸水想定区域

0.5m 1.0m 2.0m 3.0m 5.0m

該当しない

土石災害の危険性

土石災害警戒区域 土石災害特別警戒区域 なし

3・4階

2階

1階

1階床下

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)



	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期 注意情報 (気象庁)	大雨・洪水・ 高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難 	避難指示 	緊急安全 確保
行動「誰が」「何をするか」	(父) テレビの天気予報を注意 (父) 家族全員の今後の予定を確認 (母) 防災グッズの準備 (母) 1週間分の薬を病院に受け取りに行く (私) テレビ、インターネット等で雨や川の様子に注意 (父) ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 など		(祖父母) ○○保健センターに、ヘルパーさんと車で避難する。(15分) (私) 川の水位をインターネットで確認 テレビで洪水予報の確認 など		(私、父、母) ○○高校体育館に徒歩で避難する。 (20分) など

※避難行動については「誰が」「どこに」「誰と」「どのように」避難するかを記入しましょう。

○避難経路、避難場所の確認をしましょう

避難経路を選ぶ際は、危険をなるべく避けられる場所を選び、可能であれば2～3コースは想定しておきましょう。例えば、水路や側溝がある経路は、早期の避難経路としては使用できても、水かさの増加、夜間や大雨の視界不良などで道と水路の境界が見えなくなり、冠水後の避難経路としては危険です。

避難場所についても、指定避難所(集会施設等)の他、条件次第では、親戚や友人宅への避難も候補として検討しましょう。家族の構成、身体状況も含めて、家族や親戚などと相談し、決めておきましょう。

自然と共生する只見町の文化を伝える

『『自然首都・只見』伝承産品』に新たに2つの産品が認証



▲間伐したブナをソリで運び出す春木山



▲堅雪の上で間伐されたブナ

「『自然首都・只見』伝承産品」にブナの生木を使った「自然な歪みのカレー皿」と、昔ながらの仕事着を小さな壁掛け飾りに仕立てた「小さな仕事着の壁飾り（シゴトシ・ユッコギ）」の二点が新たに認証されました。



▲自分だけのカレー皿を作るワークショップ

「自然な歪みのカレー皿」は、材料となるブナを只見町で伝統的に行われてきた春木山により切り出しています。春木山は木材を雪上で滑らせることで様々な歪みが生じ、世界に一枚しかない木皿となります。同プロジェクトでは、やすりがけや塗装を自ら行うワークショップなども行っており、自分だけの皿を作り上げることが出来ます。



▲小さな仕事着の壁飾り

「小さな仕事着の壁飾り（シゴトシ・ユッコギ）」は、国指定重要有形文化財である只見の仕事着コレクションの中から、伝統的な仕事着のシゴトシ（上衣）とユッコギ（下衣）を壁飾りにしたものです。日常着られていたこれらの仕事着を仕立てるのは女性の大事な冬仕事とされ、只見の冬の縫い仕事として日々受け継がれてきました。また、



▲ブナの生木から削り出された皿

「めいわ縫子さん」は明和地区の縫い仕事に興味のある女性達の集まりです。布を大切に作る精神を受け継ぎ、着なくなった着物や仕事着を解いた布を使用し、仕事着の作り方はそのままに壁掛け飾りを作っています。「昔の人の知恵は未来への希望」「先人たちの『もったいない』は現代のSDGs」の考えのもと、壁飾り以外にも実際に身につけて使える仕事着や袖な



▲明和公民館まつりで展示された好きな仕事着の柄を投票するブース

カレー皿については、現在「ただみ・ブナと川のミュージアム」「ふるさと館田子倉」で購入（予約）することが出来ます。仕事着の壁飾りについては、同施設の他、只見町インフォメーションセンターやげんき村、めいわぬいっ子さん（詳細P9）で販売しています。



▲仕事着姿の「めいわ縫子さん」メンバー



▲明和公民館での活動の様子

し半纏はんてん、小物なども製作し販売を始めています。

ただみ・モノとくらしのミュージアム 企画展

『奥会津の着る民具モノ—糸づくりから現代まで—』開催中

ただみ・モノとくらしのミュージアムでは、現在、『第3回企画展 奥会津の着る民具—糸づくりから現代まで—』を開催しています。本展は、〈プロローグ 現代に生きる仕事着の技〉、〈第1章 只見の糸づくり・布づくり〉、〈第2章 只見の仕事着〉の3章で構成されています。仕事着の中でも“布”でできたものに焦点を当てました。

只見町には「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」という国重要有形民俗文化財に指定された民具があります。2,333点のうち416点は仕事着です。代表的なものに、上衣「サシコハンテン」と下衣「ユッコギ」があります。本展のプロローグでは、「サシコハンテン」を現代に復活させた〈南郷刺し子会〉、「ユッコギ」の再現が活動のスタートとなった〈めいわ縫子さん〉を紹介しています。

〈めいわ縫子さん〉 展示風景



〈めいわ縫子さん〉は、当館の開館にあわせて、何か協力したいという思いで活動がはじめられました。国指定民具になっている仕事着をもとにした、只見の仕事着の再現から始まり、現在では、ミニのシゴトシとユッコギの壁掛けや、着物を使用したワンピースなどの洋服を制作しています。

〈南郷刺し子会〉 展示風景



「南郷刺し子」をはじめとする、南会津地方の刺し子文化は、伊南川沿いの南会津町（南郷地区・伊南地区・館岩地区）および只見町（明和地区）に分布しています。明治時代には衰退したこの文化を復活させたのが、南会津町の〈南郷刺し子会〉です。

第1章では、「只見の糸づくり・布づくり」と題し、使用された民具や写真を展示しています。仕事着の素材は、麻や木綿などの自然素材です。只見地域ではアサ（大麻）を生産していました。また、養蚕も盛んで、繭から絹が作られていました。



第1章 展示風景
カイコが繭を作るマブシ(右下)の製作映像も展示しています。

第2章では、「只見の仕事着」と題し、国指定民具の仕事着を、種類ごとに展示しています。作業や季節に合わせてさまざまな工夫があります。オオゼキなどの共同作業で着られた「サシコハンテン」は、只見町採集の3点に加え、南郷刺し子会から借用した3点も展示しています。

6月まで開催した第2回テーマ展は、民具の中でも身につける民具に焦点を当て、さまざまな素材の仕事着を紹介しました。今回の企画展は、その拡大版として、古くて新しい「仕事着」を100点以上展示している大規模な展覧会です。ぜひご来館ください。

文・写真 原永円香



ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報 入館無料

第3回企画展「奥会津の着る民具—糸づくりから現代まで—」

会期：2024年7月20日(土)～2025年2月11日(火・祝)
会場：ただみ・モノとくらしのミュージアム展示ホール・ギャラリー

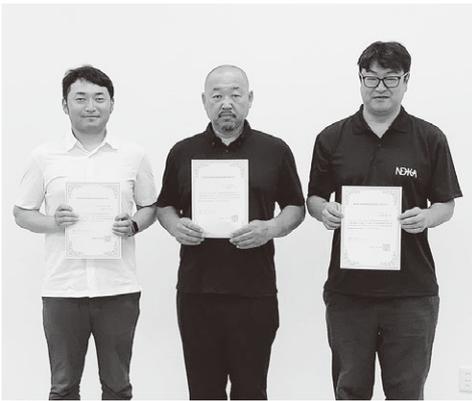
地球を守りながら
農業を行う「みどり認定」

町内6事業者が認定

「福島県環境負荷低減事業活動実施計画認定（通称…みどり認定）」に、(株)RライズISSサプAPプER、(有)さんべ農園、(株)伊南川、馬場由人、(同)ねっか、(株)新国農園の6事業者が認定されました。

みどり認定は、「環境と調和のとれた食糧システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」に基づき、環境負荷低減事業活動に取り組む事業者を認定する制度です。

認定された6事業者は、秋耕の実施などを通して環境にやさしい農業に取り組めます。



▲J A会津よつばで行われた認定証交付式に出席した(有)さんべ農園、(株)伊南川、(同)ねっか

地産地消で里山整備

只見町薪ステーション
一般見学会 開催

只見町薪ステーションの一般見学会が6月29日に杉沢地内の現地で開催されました。

見学会では、町薪エネルギー推進室の紙谷特命参与から事業概要の説明が行われた後、運営管理を行う只見町森林組合の山内代表理事組合長が施設の紹介を行うと共に「皆さんのお力を借りながら、皆さんの必要ものを供給できるように進めたいと考えています」と話しました。

当事業への関心を寄せる町民は多く、当日は50人を超える参加者となりました。



▲薪割り機の運転を見学する参加者

来年度開園にむけ意見交換を行う

認定こども園に関する
住民懇談会 開催

「只見町認定こども園」に関する住民懇談会が7月17日に朝日公民館で開催されました。今回は、参加者を限定せず、未就学児の保護者以外にも、幅広く町民を募りました。

懇談会は、保育所の現状と課題や、認定こども園への移行による変更点、通園方法、今後のスケジュールなどについて、事務局から説明・報告後、質疑応答（意見交換）が行われました。

詳細については、只見町ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



▲意見交換の様子

只見町を研究する

学術調査助成金事業
テーマ・研究者が決定

令和6年度「自然首都・只見」学術調査研究助成事業の助成対象者が決定しました。

当事業は只見町の自然環境・生物多様性、歴史、民俗、産業に関する調査研究をおこなう者に対して助成し、それらの価値を科学的に明らかにすることで「自然首都・只見」ブランドの向上をめざすものです。

助成研究者はブナセンターと連携し、ブナセンターの腕章等を付けて調査研究を行います。

No.	研究テーマ	助成研究者代表	所属
1	アカミノアブラチャンの遺伝的特徴の解明	森口 喜成	新潟大学 農学部
2	只見とは何か—その歴史的形をを探る—	赤塚 公生	奥会津越後交流史研究会
3	只見地域におけるキタゴヨウ群落の立地環境・林分構造と個体群維持のメカニズム	近藤 博史	横浜国立大学大学院
4	只見の民具にみる樹種選択の伝統的知識の再評価	井田 秀行	信州大学教育学部
5	環境DNAを用いた只見町の奥地における魚類多様性評価	村上 弘章	東北大学大学院農学研究科
6	森林の育成過程で発生する間伐材による只見町内エコシステムの構築と課題	大橋慎太郎	新潟大学 農学部

水の流れを学ぶ 町内小学校「上下水道施設見学」

町内3小学校4年生の社会科授業で、各地区の浄水場や浄化センターの見学学習が行われました。見学学習では、株式会社トーカンの皆さんや町の職員の解説で生活の中で使用されている水が「どこから、どのように来ているのか」や「使用した水がどのように処理されているのか」などを学びました。児童は、普段見ることができない施設の内部構造や設備に興味深々で見学して回りました。



▲浄水施設の見学をした只見小児童
(6月24日)



▲施設設備の説明を聞く朝日小児童
(6月26日)



▲町職員から説明を受ける明和小児童
(6月25日)

合唱で交流を深める 「南会津合唱交流会」開催

南会津郡内の合唱・コーラス団体が集まり合唱を通して交流を深める「南会津合唱交流会」が、6月23日に只見公民館で開かれました。

交流会は5年ぶり23回目の開催で、町からは、コーラスはなみずき、コーラスフルールの2団体が参加し、計6団体が参加しました。

五十嵐聰江さん(只見)が「5年ぶりに開催できたことを嬉しく思います。今日一日楽しい交流会にしてほしいです」と主催者代表のあいさつをしました。



▲町内から参加したコーラスはなみずき(左)、コーラスフルール(右)



▲おめでとうございます。

祝百歳賀寿 知事賀寿状伝達式が行われました

菅家アサエさん(布沢)の知事賀賀寿贈呈式が7月19日に行われ、賀寿状の伝達や、記念品の贈呈が行われました。菅家さんの長寿の秘訣は「お米を三度三度欠かさず、しっかり食べること」とのことです。

これからも元気に長生きしてください。

只見線子ども会議メンバー発案

「七夕列車 只見線ツアー」実施

JR只見線の「びゅうコースター風っこ号」を使用した「七夕列車 只見線ツアー」が、7月6日、7日に只見駅に入線しました。

このツアーは、昨年度の「只見線子ども会議」において提案されたアイデアで、車内には只見線子ども会議のメンバーが描いた絵を展示したり、只見駅構内の待合所には七夕飾りを設置し、只見駅で降車した方が楽しめるような工夫を凝らしました。



▲駅の飾り付けを行ったメンバーたち

映画「青春18×2」応援プロジェクト

只見高校「18年後に開封するタイムカプセル」企画 実施



▲専用の原稿用紙に手紙を書く生徒

只見町がロケ地となっている日台合作映画「青春18×2 君へと続く道」の応援事業として、町と県立只見高等学校が協力し、「18年後に開封するタイムカプセル」企画を実施し、只見高校生が18年後の自分に向けた手紙を書きました。

映画では、主人公の18歳頃の青春像と、その18年後の時間の流れを描いており、生徒たちに18年後の自分を考えてもらうきっかけとして、町が企画しました。

生徒は、未来の自分への質問などを書いた手紙を封筒に入れ保管用の箱に収めました。

手紙は町が保管し、18年後に同校で開封する予定です。

只見町で頑張る海外研修生らと交流

明和自治振興会「第6回国際文化交流会」開催

明和自治振興会の主催で「第6回国際文化交流会 ミニ運動会」が7月6日に明和小学校体育館で開催され、ヒロタテクノ、会津工場、グループホーム和の里、桜の丘みらいなどに勤める海外研修生や地元企業の社員、地元住民ら約100人が参加し、スポーツを通して交流を深めました。

運動会は、じゃんけんで負けた人が勝った人の後ろに繋がって列を作る「じゃんけんリレー」や綱引きの他、会津磐梯山踊りを含む8競技が実施され、地元住民と海外研修生の笑顔溢れる交流会となりました。



▲「じゃんけんリレー」を楽しむ参加者

古着をリメイク して再活用

「めいわぬいっ子さん」オープン

使われていない着物などを無償で譲り受けて、様々な作品を製作している「めいわ縫子さん(以下、同会)」が小林地内モンマート舟木向いに、作品の展示、販売を行うリメイクショップ『めいわぬいっ子さん(以下、同店)』を開きました。

同店は、不要となった着物や帯などをワンピースやバッグ、ユッコギなどにリメイクしたものを展示、販売しており、売上の一部は町内小学校のSDGs活動やただみ・モノとくらしのミュージアムに寄附されるとのことです。

同会員は「昔の人が生地を余すことなく無駄にしないようユッコギを作っていたSDGsの精神を受け継ぎ、使われなくなった古着の形を変えて、また活用できるものに変えています。皆さんのお役にたてればと考えていますので、ぜひお越しください」と話しました。



▲伝承製品の認証を受けたミニユッコギの販売もしており、「ユッコギの良さも広めて行きたいです」とも話してくれました

○めいわぬいっ子さん 営業日：月火土日曜日午後1時～3時(夏期) ※営業中は「営業中」ののぼり旗がでています。
お問合せ：事務局 星 (TEL 080-1808-4768)

長年の推進委員活動が評価 佐藤隆一さん 「東北地区スポーツ推進委員功労者表彰」受賞



▲町教育委員会に受賞報告をした佐藤氏

令和6年度東北地区スポーツ推進委員功労者の表彰式が7月12日に宮城県石巻市で行われ、只見町から、佐藤隆一さん(福井)が表彰を受けました。

佐藤さんは、平成19年から、町体育推進委員として活躍されており、長年スポーツ少年団のコーチを務めた他、現在も野球の審判として、南会津及び会津管内で活動されています。

佐藤さんは「これを機に更に地域スポーツの推進に寄与していきたいです」と話しました。

2期6年を務める 鈴木美穂さんに感謝状が贈られました

令和6年6月30日の任期満了で人権擁護委員を退任された鈴木美穂さん(只見)に法務大臣から感謝状が贈られ、その伝達式が7月22日に役場町下庁舎で行われました。

鈴木美穂さんは、平成30年から2期6年の任期を務め、任期中は町内小学校で人権教室の講師を務めた他、雪まつりを始めとしたイベント会場でパンフレット配布を行うなど、町内の人権啓発活動に尽力されました。



▲感謝状の伝達を受ける鈴木さん

新潟・福島豪雨災害から13年 命を守ることを伝える 朝日小「防災教室」実施

朝日小学校は、13年前に起きた「平成23年7月新潟・福島豪雨災害」について知ること、児童の防災意識を高めることを目的として、7月18日に防災教室を実施しました。講師は、災害を体験した菅家達朗さん（黒谷）、吉津謙三さん（長浜）、南会津教育事務所の飯塚敏明さんが務めました。

講師の3人は、それぞれが実際に五感で感じた災害の怖さと併せて、「災害時には命を守ることを最優先で行動してください」と話しました。



▲水害当時の写真をみて、驚きの声を上げる児童もいました

夏休み企画 「布沢で川あそび体験」実施



▲川の水をかけあうなどして、楽しみました

明和自治振興会の主催で「布沢で川あそび体験」が縁樹の家（布沢）で実施され、明和地区内の小学生9人と中学生ボランティア3人が参加しました。

活動では、薪割り体験や布沢川で川遊び、バーベキューなどを行い、自然の中での生活を学びながら、活動を楽しみました。

川遊びでは、子どもたちが「プールよりも全然冷たいけど、慣れると楽しいです」と笑顔で話しました。

また、午後は縁樹の家で、木地師の生活を記録したDVDを見たり、パラコードブレスレット作りの他、ボードゲームなども行い、子どもたちは、学びも遊びも充実した1日を過ごしました。

TWSC「奥会津ねっか」最高金賞「ばがねっか」金賞 ベストカテゴリー賞 受賞を報告 「ねっか祭り2024」開催

合同会社ねっか主催の「ねっか祭り2024」が7月20日に季の郷湯ら里で開催され、海外からの参加者も含め、約140人が参加しました。

合同会社ねっかの脇坂齊弘代表はあいさつの中で、東京ウイスキー&スピリッツコンペティション(TWSC)2024焼酎部門において、「奥会津ねっか」が最高金賞、「ばがねっか」が金賞とベストカテゴリー賞を受賞したことを報告しました。



▲開催と受賞をお祝いし、乾杯する参加者

○TWSC…アジア最大級の蒸留酒の品評会。審査は、大きく洋酒、焼酎で分けられ、それぞれ、1次審査（銅賞、銀賞はこの段階で決定）、2次審査（金賞、最高金賞を決定する）が行われる。焼酎部門は、国内外問わず市場に販売している焼酎を評価する。審査員はパーテンドーや酒類製造業、酒類販売業など酒類の製造・流通・販売に関わる方が務める。「ばがねっか」が受賞したベストカテゴリー賞は、一次審査結果で最高得点だったアイテムに贈られる賞。

広報ただみ診療所

只見町の皆さん、はじめまして

朝日診療所看護師 鈴木 唯



皆さまはじめまして。鈴木唯と申します。今年の3月に看護学校を卒業し、4月から看護師として朝日診療所で働かせていただいております。看護学校入学前は会社勤めをしておりましたが、看護師としてはまるっきりの新人です。これから只見町の皆さまのお役に立てるよう、努めていきたいです。

出身は会津若松市で、今は只見町に移住し生活しています。只見町での生活はまだまだ慣れないこともあります。「只見によくきてけやった。」などお言葉をかけていただき、只見町の皆さんの温かい人柄に触れ、人と人とのつながりの強さを感じています。また、只見町に来て驚いたことは焼肉ではラムやマトンを焼くということです。はじめは匂いに慣れず苦手でしたが今ではとても美味しくいただき、焼肉にマトンがないと物足りなさを感じるようになりました。まだ移住し3か月程ではありますが、温かい町民の皆さまや美味しい食べ物、豊かな自然に触れることができ、移住してきてよかったと感じています。これからも、町民の皆さんとの関わりから多くのことを学んでいきたいです。町のこと、文化のことなどいろいろ教えていただけると嬉しいです。

看護師として診療所で働くのは初めての経験です。朝日診療所の業務は外来や訪問診療、訪問看護、介護福祉関係者との提携、地域保健活動など、仕事の区切りがなく地域の医療に包括的に携わっていく形になると思います。若輩者ですが、先生方や診療所スタッフ、そして町民の皆さまに教えられながら、少しでも早く仕事がこなせるように慣れていきたいです。技術を身に着け患者さんに寄り添い、個々に合った看護が提供できるよう、先輩方からご指導いただきながら業務に取り組んでいきます。まだ不慣れなところが多々あり、ご迷惑をおかけすることがあるかと思えます。早く一人前となり、只見町の医療に貢献できるよう励んでいきたいです。町でもし見かけたらお気軽に声をかけて下さると嬉しいです。これからどうぞよろしく申し上げます。

どうして、今、「ネイチャーポジティブ」?

「ネイチャーポジティブ」は、「2020年を基準として、2030年までに自然が損なわれるようなことを食い止め、回復させ、2050年までに完全な回復を達成し、自然と共生する社会を実現する」という世界的な社会目標です。従来の自然を守り、維持することから大きく踏み込んで回復させるこの目標は、それだけ現在の自然や生き物がおかれている状況が危機的であるというメッセージでもあります。実際、今の地球は過去1,000万年間の平均と比べて10倍～100倍もの速度で生き物が絶滅していく時代になってしまっています。

日本における多様な生き物が危機的な状態にある原因は主に4つあります。

- (1) 人間による開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少
- (2) 里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- (3) 外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱
- (4) 地球温暖化など地球環境の変化による危機

「だいだらぽじー (DAIDARAPOSIE)」
環境省が作成したネイチャーポジティブの
イメージキャラクター。



特に、開発行為は生き物がいなくなる大きな原因となっています。日本における絶滅のおそれのある生き物は年々増えており、近年では、100種に5種が絶滅のおそれがある生き物となっています[※]。私たちのくらしは、自然のさまざまな恵み（食料、エネルギー、きれいな空気と水、鉱物、医薬品、自然災害からの安全、など）によって支えられています。将来のくらしを守るため、日々の生活や経済活動の中で、自然や生き物への配慮していくことが求められています。

※出典：環境省「まもろう日本のいきものたち ～私たちにできること～」より

只見短歌会

令和六年七月詠草

消灯後しばらく経ちて病室に人の気配は看護婦なるや

馬場 八智

雨待ちの畑の予定を組みつつも自ずと向くは花壇の端へ

目黒 富子

諸事情の気がかりあれど年なりの日常茶飯今日も暮れゆく

関谷登美子

パパの弾くギターの音に二歳児がうたを歌へばオリジナルソング

立花 奏音

桑の実の熟せし物から孫食べぬ唇の色青くなるまで

新国由紀子

亡き母の好みしあはきねじり花知人に貰ひ母を偲びぬ

渡部ヨリ子

只見俳句会

七月定例会

藤の花松坂峠の丸太椅子

真理子

杉の木に舞子の衣装藤の花

睦子

同級会友の知らせもそこそこに
初ナスを「夕食に」と姉がくれ

紺青

眩しさに目をほそめ見る若葉かな
卯波寄すこころの波も相よりて

恒夫

かつてこの峠にいくさ蟬しぐれ
「雨の日」の句集の届く送り梅雨

礼

土寄せし大豆畑に蝶々来る
青山へ渡る雲陰越後領へ

日高俊平太 指導

夏休み集会所へとラジオ体操
父子してごみ袋持ち夏休み

一穂

沢の音青葉突き抜け大空へ
一人入る岩風呂小屋は青葉闇

修一

炎天下まなじり上げて甲子園
梅雨晴れて噴水浴びる幼児かな

信

ほかほかのたこ焼き串に若葉冷え
父の日や相も変わらぬ天下取る

都



今月のお知らせ

試験

令和7年度社会福祉法人南会津会職員採用試験

1、採用予定職種及び採用予定人員

〔看護職員〕 2名程度
〔介護職員〕 5名程度

2、受験資格

①普通自動車一種免許取得者又は、令和7年3月31日までに取得見込みの者
②令和7年4月1日時点で60歳未満の者

③次の資格を有する方、または令和7年3月31日までに取得見込みの者

〔看護職員〕

看護師又は准看護師免許

〔介護職員〕

特になし

※ただし次に該当する者は受験できません。

・日本の国籍を有しない者
・禁固以上の刑に処せられた者

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
	成年後見制度利用促進室	☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
	薪エネルギー推進室	☎82-5230
交流推進課	観光係	☎82-5240
	商工労働係	
移住交流係	ユネスコエコパーク推進係	☎82-5963
	(ただみ・ブナと川のミュージアム内)	
会計室		☎82-5120
議事事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
朝日保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

3、受付期間

令和6年9月6日(金)まで

4、試験日及び場所

○試験日時

令和6年9月22日(日)

午前9時30分から受付

試験の結果については、9月下旬に本人に通知します。

○場所

南会津郡南会津町田島字後原甲

358611

南会津町田島あたご館

3F大ホール・研修室

5、試験方法

①作文試験

②面接試験

6、採用予定日

令和7年4月1日

7、申込用紙の交付及び請求

申込用紙は、南会津会の施設等で交付します。なお、郵便により

申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、返信用の120円切手を

同封し返信先の住所等を明記のうえ、社会福祉法人南会津会本部事務局へ請求してください。

○申込用紙交付施設等
社会福祉法人南会津会本部事務局、各特別養護老人ホーム(下郷・伊南・田島・南郷・只見・あさくさホーム)、只見町介護老人保健施設こぶし苑、南会津町館岩高齢者生活福祉センター高夕※南会津会ホームページからもダウンロードできます。

8、問合せ先

社会福祉法人南会津会

本部事務局

南会津町永田字風下3-1

☎0241-631118

お知らせ

「第17回南会津救急フェア」開催

「第17回南会津救急フェア」を開催します。当イベントでは、「救急の日」及び「救急医療週間」にあたり、救急に関する講演や心肺蘇生法などの応急手当講習が受講できます。

また、消防車両の展示や起震車による地震体験など、当日来場者も楽しめるブースを用意しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

〔開催日時〕

令和6年9月7日(土)

午前10時～午後1時30分

〔場所〕

南会津地方広域市町村圏組合

消防本部

〔申込み及び問合せ先〕

講習受講を希望の方は、メールまたはFAXで「氏名・年齢・連絡先」を記載の上、送信いただくか、QRコード先の申込フォームから申込みください。

メール: fd-honbu-kyukyuu@minamiazu-koukijp

FAX: 0241-631115

申込フォームに移動します

QRコード

南会津地方広域市町村圏組合消防本部 警防課 救急係

☎0241-6313116

税 今月の納期

8月26日までに納めましょう

- 町県民税(2期)
- 国民健康保険税(2期)
- 農集排使用料(8月分)
- 介護保険料(2期)
- 後期高齢者保険料(1期)

食事の大切さを伝える 食育推進事業 パンフレットの配布を行いました



毎月19日は「食育の日」、特に6月は「食育月間」となっており、只見町食生活改善推進員の会員(ヘルスマイト)は食育月間の食育の日に合わせて6月19日に食育推進のパンフレットの配布、設置を行いました。

パンフレットは、明和、朝日地区の商店に設置した他、只見地区の商店2カ所では、会員から手渡しによる配布を行いました。

▲町内の商店でパンフレット配布を行う只見町ヘルスマイト



広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆朝日診療所の若山所長が7月19日の診療を最後にご退職されました。

離任式でご挨拶をいただくとともに、町から13年間のご精励に対し、感謝状を贈呈させていただきました。

現在、常勤医師は山並先生お一人となり、非常勤医師として宮下病院、南会津病院及び福島医大等から応援をいただき、診療に当たっていただいております。

応援は当面9月までとされていますが、引き続き10月以降も県からいただいておりますので、診療所が10月以降休診になるようなことはありません。

次に10月以降の常勤医師の確保ですが、町としても努力をしていますが、福島県からも朝日診療所を最優先で医師の確保に努めるという話をいただいております。

その上で、今後の診療所のあるり方ですが、訪問看護事業にも引き続き取り組むとともに、オンライン診療や「看護小規模多機能型居宅介護（通称…看多機）」の新設に向けて、県の支援を受けながら取り組んでまいります。

これは医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み

慣れた自宅での療養を支える介護保険サービスです。主治医との連携のもと、医療処置も含めた多様なサービス（訪問看護、訪問介護、通い、泊り）を24時間365日提供するものです。更に、三条市に今年3月に開設した「済生会新潟県央基幹病院」の話です。

先日、町議会議員の皆さんと共に訪問してきました。当日は院長先生自らご案内いただきました。診療科は小児科や外科、整形外科、産婦人科、腎臓内科など実に31科があります。

その中には救急科（ER）もあり、どんな救急患者も受け入れ、初期診療を提供し、その後専門家と連携を図りチーム医療を提供するものです。

院長先生からは、国道289号線八十里道路が開通したら只見町民の方もしつかりと受け入れをいたしますとご説明いただきました。

本日に国道289号線八十里道路が「命の道」として一日も早い開通が待ち望まれます。

最後になりましたが、町民の皆様には大変なご不安とご心配をおかけしていることをご詫び申し上げますとともに、以上申し上げた考え方に則って努力してまいりますので、ご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

町長スケジュール（7月分）

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 1日 | 会津縦貫道整備促進期成同盟会地方要望（仙台市・郡山市） | 17日 | 南会津農林事務所長との意見交換会、南会津地方環境衛生組合来庁、文化祭実行委員会 |
| 2日 | 電源開発(株)田子倉電力所所長代理来庁、とうほう証券(株)会津支店長来庁、(株)南会西部建設コーポレーション代表取締役来庁、福島民友新聞社若松支社営業部長来庁 | 18日 | 福島県町村会役員会・同県要望(福島市) |
| 3日 | 定例庁議、(財)ふくしま市町村支援機構事務局長来庁、只見特産(株)取締役会 | 19日 | 辞令交付式、百歳賀寿贈呈式、奥会津7町村文化施設間連携企画展オープニングセレモニー(柳津町)、奥会津デジタルアーカイブ事業に係る包括連携協定締結式(柳津町) |
| 4日 | 星北斗参議院議員事務所訪問(郡山市) | 20日 | からむし織の里フェア(昭和村)、ねっか祭・TWS C最高金賞受賞祝 |
| 6日 | 奥会津ビジターセンターオープニングセレモニー(柳津町) | 21日 | ねっか×東北電力コラボ企画東北電力第二沼沢発電所貯蔵焼酎贈呈式(金山町) |
| 7日 | 福島県消防操法南会津地方大会(南会津町) | 22日 | 議会7月会議、議会全員協議会、人権擁護委員退任感謝状伝達式、会津田島祇園祭・交流会(南会津町) |
| 9日 | 南会津地方町村議会議員大会(檜枝岐村)、(福)南会津会来庁 | 23日 | 福島県町村会定期総会決議事項に基づく国への要請、町村長交流会(東京都) |
| 10日 | 国道289号線建設期成同盟会 会長・副会長会議(東京都) | 24日 | 町村長中央研修会(東京都)、八十里越地点開発促進期成同盟会総会(三条市) |
| 11日 | 一級河川只見川河川整備促進期成同盟会総会(三島町)、只見・金山・昭和・三島県道改修促進期成同盟会総会(三島町)、郡山国道事務所長来庁 | 25日 | 八十里越地点開発促進期成同盟会現地視察(三条市) |
| 13日 | にっぽん応援ツーリングin只見 | 29日 | 辞令交付式、(財)ふくしま市町村支援機構理事会(福島市) |
| 16日 | 福島県医療人材対策室長来庁、議会総務常任委員会、日本ウォーキング協会専務理事来庁、只見町文化協会長来庁、河井継之助墓前祭実行委員会代表来庁 | 31日 | J R東日本会津坂下駅長来庁、県道小林館の川線改良促進期成同盟会総会、全会津商工観光推進大会(下郷町) |

町民の消息

(6月26日～7月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

佐藤 瑞蘭 (女/翔太・美希) 叶 津
渡部 蒼紫 (男/俊・恵里) 小 川

■おくやみ申し上げます

渡部 榮子	84歳	蒲 生
湯田 ミヤ	99歳	布 沢
船木 チエ子	99歳	黒 谷
山内 幸一	71歳	梁 取
長谷部 トミ子	94歳	蒲 生
酒井 公治	60歳	只 見
馬場 マリ子	86歳	蒲 生

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年7月1日現在

人 口	3,595 (±0)
男	1,778 (+3)
女	1,817 (-3)
世帯数	1,541 (+2)
高齢化率	49.1%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 10 転出 7 出生 1 死亡 4

▽暑い日々が続いています。私が小学生くらいの頃の夏は、『涼しい内』は宿題をやるということで、朝10時くらいまでは夏休みの宿題をやっていたのですが、あの『涼しい内』はどこへ行ってしまったのでしょうか。寝ても覚めても暑さを感じております。

▽皆様も熱中症にはお気をつけてお過ごしください。

(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★家族解散まで千キロメートル



【著】浅倉秋成 (KADOKAWA)

古い実家を取り壊して、家族ばらばらに転居することになった29歳の喜佐周。引っ越し直前、いつも家にはいない父を除く家族総出で片づけをしていると、倉庫で不審な箱が見つかる。中には世間を騒がせる“青森の神社から盗まれたご神体”にそっくりのものが。「いつも親父のせいでこういう馬鹿なことが起こるんだ！」過去のとある出来事により、父の犯行を確信する一同。返却し許しを請うため、ご神体とともに車で青森へ向かう周は、道中いくつかの違和感に気づく。そもそも父は本当に犯人なのか？

★野球しようぜ！

【文】とりごえこうじ / 【絵】山田花葉
(世界文化ワNDERグループ)



大谷翔平選手の半生を絵本化！

幼少期から今に至るまで、常に夢を描き挑戦を続けてきた軌跡を描いた物語。野球を始めた子どもたちはもちろん、すべての子どもたちが夢をもって挑戦する励みになる絵本です。物語には幼少期から日本プロ野球、MLB、WBCでの活躍、全国小学校へのクラブ寄付、ドジャース入団までを紹介し、巻末には大谷選手のことがよくわかるインタビューや写真、手形を入れた「新聞」ページも掲載しています！

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。



タガメ (学名: *Kirkaldyia deyrolli*)

(写真・文 太田祥作)

【カメムシ目コオイムシ科】



▲ タガメの成虫 (9月撮影)



▲ 水面下の幼虫。前脚にはすでに立派なカマを備えている (7月撮影)

タガメは日本最大の飛翔する水生昆虫として有名です。鎌状の前脚はエサを捕らえるために大きく発達しており、これでフナやドジョウ、カエル、ときにはヘビや小さなカメすらも仕留めることができます。タガメは捕らえたエサに針状の口を突き刺し、消化液を注入して食べてしまいます。

タガメは、オスが卵を世話することで知られています。交尾後、メスは水上に突き出した植物によじ登って卵を産みつけると、あとはどこかへ行ってしまいます。一方、オスは、卵が乾かないよう水を与えたり、上から覆いかぶさって卵を保護したりと、卵がふ化するまで甲斐甲斐しく面倒を見ます。タガメの寿命は一年で、オスのこうした行動は梅雨時に観察できます。幼虫は秋のはじめごろに羽化して成虫となり、そのまま冬を越します。



▲ 卵を守るオス (6月撮影)

タガメは全国的にも数が少なく、珍しい昆虫です。減少の理由には、圃場整備や農薬散布など、近代的な稲作農法への変化や、ブラックバスのような外来種の増加が関係していると言われています。

只見町のタガメは2022年に生息が確認されました。しかし、奥会津地域では今のところ只見町でしか見つかっていない上、町内でも生息場所は数ヶ所に限られています。また、タガメはどちらかと言えば平地の昆虫で、山間地域での生息は珍しく、貴重な存在です。

タガメは餌に多くの水生生物を必要とするため、その存在は、只見の水辺環境の豊かさを象徴していると言えるでしょう。

〈参考〉太田祥作(2023)只見町でタガメの棲息を確認。ふくしまの虫, 40:14-15.

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター (電話 0241-72-8355) までお問い合わせください。

企画展「誕生から10年。只見ユネスコエコパークの
ここまでを振り返り、これからを考える」

会期：2024年4月27日(土)～9月1日(日)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています